

# 坂東太郎



## 1学期終了 明日から39日間の夏休みが始まります

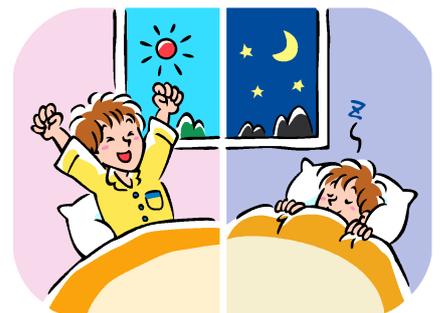
今日で1学期が終了となりました。4月7日（金）から始まった1学期も105日目を迎えた本日で終了となります。1学期の授業日数は70日でした。季節は春から夏になり、梅雨明けこそまだですが、先週から今週初めに掛けては、危険とも言える暑さが既に到来しています。

1学期は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック以来4年目の年としてスタートしましたが、5月8日に感染症法上の分類が5類に移行したことも受け、昨年からのウィズコロナの流れも一段と加速し、学校でもアフターコロナを見据えながらの活動となりました。多くの場面でコロナ前の姿に近づいてきており、前回お伝えしたように4年ぶりに実施した5年生の臨海学校についても、16日、17日の2日間計画通りに実施することができました。伊勢崎は大変暑い2日間でしたが、臨海学校のある寺泊は、伊勢崎と比べれば幾分過ごしやすかったようです。5年生の子供たちは、5分前行動どころか10分前には次の活動の準備が終了するなど、一つ一つの活動に前向きに取り組み、2日間の活動をやり終えて、高学年の自覚を確かなものにするなど大きく成長できたようです。

しかし、この1学期の間も全国的には新型コロナウイルス感染症だけではなく、インフルエンザやいわゆる夏風邪のまん延も見られ、学級閉鎖や学年閉鎖、更に学校閉鎖になったところもあるようです。そのような中で、坂東小では学級閉鎖をするような状況になることもなく1学期を終えることができました。ご家庭にもご協力いただいた結果だと思えます、大変ありがとうございました。

本日各学級担任から子供たちに渡された通知表については、「通知表の見方」を参考にぜひ親子でご覧になって、よく頑張れたところ、2学期に向けて努力が必要なところなどを確認しながら、1学期をふり返っていただきたいと思えます。そして子供たちには、2学期に向けてしっかりと自分の目標を持ってほしいと考えています。

さて、明日から夏休みです。今年から4日間増え、39日間続く長い休みとなります。全ての場面で全く制約がなくなったわけではありませんが、地域の行事が行われるなど、これまでの3年間と比べればかなり通常の夏が戻ってきたと言えるでしょう。高学年の子供たちは記憶していると思えますが、3年前の重苦しい雰囲気であった夏休みと比べればきっと段違いではないでしょうか。そこで、長い夏休みを迎えるに当たって、前々回の学校通信（7月12日付『坂東太郎』）でも書いたように、日々の過ごし方についてきちんと計画を立てることが必要です。生活リズムを崩したまま39日間も過ごしてしまうと元に戻すのはなかなか大変です、体調も崩してしまうかもしれません。今年は4日間増えた休みを有効に活用することによって、長い休みを使わないとかなかなかできないようなことに挑戦するチャンスが更に



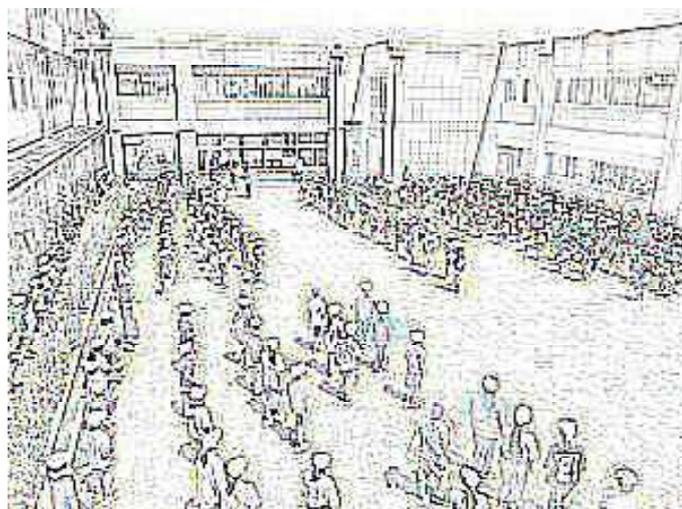
増したと言えるでしょう。

毎日ただただ過ごすのは感心しませんが、日頃の慌ただしい日々から解放されて、少しゆったりと過ごし、心と身体をじっくりと休ませることも価値があることです。いずれにしても、子供たち一人一人にとって有意義な期間となるように、また、それが2学期の頑張りにつながるように、この長い休みを過ごしてほしいと思います。

夏休みの期間は、全国的に見れば、例年事故や事件の多いときでもあります。子供たちが39日間無事に過ごし、2学期また元気で登校してくることを願っています。感染症の予防など健康の保持増進と合わせて交通事故や犯罪等にあわないように気を付けることなど、夏休みの生活の仕方について学校でも指導しましたが、ご家庭でもご指導よろしくお願いします。

## 1学期に行ってきた活動を紹介します その4

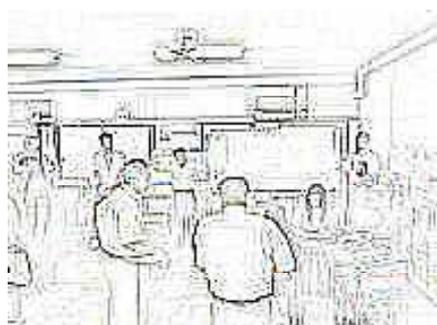
### 音楽集会を行いました。



6月29日(木)に全校で音楽集会を行い、校歌と歌えバンバンを歌いました。一昨年度も昨年度も電子黒板を使ったオンラインなど工夫した形で音楽集会を行っていましたが、何しろ基本的に思い切り歌える状態ではなかったため、コロナ以前の音楽集会とは大分違う形のものになっていました。しかし、今回実施した音楽集会は、場所こそ中庭でしたが、全校児童が一堂に会し思い切り歌ったこと、また中庭で実施したことによりかえって体育館では出なかった音の響きを感じることもできたことから、コロナ以前の音楽集会に勝るとも劣らないものになりました。

ちょっと番外編です。

外部の方に授業を見ていただく機会もありました。



6月28日(水)新潟県上越市の皆さんの視察がありました。上越市には最近外国の方が増えつつあり、この4月から多文化共生課という課ができたそうです。市長さんを含む上越市の6名の方、案内役として伊勢崎市の三好教育長さんを含む4名の方、合わせて10名の方が本校の日本語教室の指導の様子を視察されました。